



マッチプレー選手権

競技要項

1. 予選 18Hアンダーハンディキャップ・ストロークプレー、本戦 18Hアンダーハンディキャップ(HDCP 差の 3/4 掛)、マッチプレー競技とする。スタート前にハンディキャップホールを明示します。
(ハンディホールは、ホールハンディキャップの小さいホールから順番に指定します)
2. 使用ティは、予選は青ティ、本戦は黒ティとする。女性も同じティを使用する。
3. 参加資格は、正会員かつハンディキャップ 18 までとする。それ以上の者は 18 として参加可能。
4. 参加費 3,100 (税別) ※参加費に昼食代は含まれません。
5. 女性が参加の場合、ハンディキャップを+5 とする。ただし、上限 18 までとする。
6. 予選 18 ホール終了後、上位 16 名が本戦に出場できる。
予選終了後、決勝進出者で辞退の申告があった際の繰り上げは、予選日当日に受け付けた申告のみとする。
1 回戦以降で進出辞退があっても敗者の繰り上げは行わないものとする。
7. 16 位がタイの場合はローハンディ上位とし、なおタイの場合はマッチング方式にて決定する。
8. 本戦 1 回戦と準々決勝は、特別ルールとして 4 人 1 組でのマッチプレーとし、予選の成績上位者のいる組が全ホールにおいて先にティショットを行う。第 2 打以降の打順は遠い順に打つ。
9. 1 回戦、準々決勝、準決勝で 18 ホールズオールスクエアの場合、抽選にて勝者を決定する。
10. 決勝のみ 18 ホールズオールスクエアの場合は、1 番ホールからアンダーハンディマッチプレーのサドンデスプレーオフを行う。(HDCP は本戦対戦時と同一)
11. 準決勝と決勝は 2 名 1 組でのプレーとする。

競技の条件

1. ゴルフ規則： 日本ゴルフ協会ゴルフ規則と、本競技のローカルルールを適用する。
2. 使用球： 日本ゴルフ協会公認球リストに掲載されているものとする。(この条件の違反は競技失格)
3. **ホール間での練習禁止 (予選のストロークプレー、およびマッチプレー 1 回戦、準々決勝において)**
プレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くでの練習ストロークをしてはならない。
ただし 9 ホール終了後、次のホールのスタート時間までの間に行う練習グリーンでのパターを使用した練習は除く。
(この条件の違反は次ホールで 2 罰打を加える)
4. プレーの一時中止と再開： 気象条件などの影響によるプレーの一時中止、中断および再開については競技委員会がキャディマスター室を通じて連絡する。

本競技のローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭と白線の両方をもってその境界を標示する。
3. コース内のすべての池は、全てペナルティエリアとし赤杭または赤線をもって標示する。
4. コース内に設置された全てのカート道路、人工建造物、排水溝等は動かすことのできない障害物とする。
5. ボールがカート道に落ちて後方に戻った場合でも、あるがままの状態プレーをすること。
また、ボールがカート道路上にある場合は規則 16-1 の救済を受けなければならない。
6. 4 番ホールから 5 番ホール、7 番ホールから 6 番ホール、17 番ホールから 18 番ホール、18 番ホールから 17 番ホールの白杭を越えたボールはアウトオブバウンズとする。

注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加変更がある場合、マスター室前またはスターティングホールで告知する。
2. 参加者の中に欠席のあった場合、組合せおよびスタート時間を変更することがある。
3. 過去 1 年間の倶楽部公式競技 (平日杯は含まない) に 3 回以上の参加していること。(3 回のうち 2 回は直近半年以内に参加) 条件を満たしていない者は決勝へのクオリファイ資格はないものとする。
4. エチケットのガイドラインに従ってゴルフゲームがプレーされればすべての人にとってゴルフゲームは楽しいものとなるはずですが、これらのエチケットを無視して他のプレーヤーに迷惑となるような行為をした場合、委員会は懲罰的な処置としてそのようなプレーヤーに対して一定期間コース内でプレーをすることを禁止したり、競技への出場を禁止することがあります。また、エチケットの重大な違反については当該プレーヤーを競技失格とすることもできます。
5. 本競技において、あらゆる距離計測機の使用を認めることとする。(高低差がでてよい)
6. エチケット、マナー、ルール違反など発見した際には、競技委員 (マスター室) にすぐに連絡する。
7. 重篤な違反、競技委員会からの再三の注意や指導に従わず改善がみられない場合は、競技委員会において競技参加資格の停止を含めた処分を検討する。処分内容については競技委員会で協議のうえ決定とする。